

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体				
妊娠期から産後のママ支援事業「大人ママサロン」「フレフレ＊ママ・パパサロン」					西区役所 子育て支援課				
事業目的			事業内容		活動指標		R3	R4	R5
保健師からの産前・産後の心の変化についての話、保健師・保育士・子育て支援コーディネーター等からの子育てに関する情報提供やアドバイスを行うことで、相談しやすい環境づくりを行う。併せて妊娠期からの継続したママ友づくりを支援することにより、産後の孤立化予防や産後うつの発症予防を目的とする。			『おしゃべり会』を3回、『ベビーマッサージ』『アロマクラフト作り』『助産師による産前産後ヨガ』『ベビーヨガ』『ハワイアンリトミック』各1回実施。各イベントのあとは交流会を行い、家族ぐるみの交流を促す。毎回足形スタンプを実施したり、講師を招いた講義も開催し、参加者同士が気楽に集まれる場を提供する。		参加者数		大人 27人 子ども 27人	大人 50人 子ども 49人	大人 55人 子ども 50人
					参加後アンケート結果 サロンに参加してよかったか 「よかった」と回答した割合		対面 100% オンライン 100%	対面 100%	対面 100%
①妥当性			②協働の視点		③インパクト		④効率性		
◎	高齢初産(35歳以上で初産)は身体的リスクも高くなり、精神的にも産後うつになりやすい傾向にあると言われており、交流の場の提供と、不安や悩みを軽減するための支援が必要である。高齢出産のために抱く不安や心配事を参加者間で共有し、ピアサポートとしての効果もある。		◎	地域で子育て支援活動をされている方に講師を依頼した。また、スタッフとして、常時、子育て支援課保健師、保育士、子育て支援コーディネーターが参加した。	◎	上記イベントを企画し、イベント終了後には保健師からの産後の心の変化について、子育て支援コーディネーターから子育て支援情報について、保育士から乳幼児との過ごし方や遊びの紹介を行った。特に、産後の心の変化については毎回資料を配布し、相談先の情報提供を行った。また、毎回足型スタンプを実施することで、児の成長を実感していただけた。	○	広報やアプリ、チラシを利用し、周知を行った。コロナ後、参加者数は横ばいであり、周知活動が必要である。	
⑤自立発展性			総合評価						
○	回を重ねるごとに参加者同士の親交が深まり、ママ友への発展がみられた。		◎	アンケートより、「とてもよかった」「よかった」の割合は、100%であった。実際に、参加者から「同世代なので話しやすい」「リフレッシュできた」「情報を得ることができた」という声がきかれた。					
今後の方向性(課題、改善提案等)									
拡充 継続 見直し 廃止		アンケート結果から参加目的として「同世代の方と交流」「リフレッシュ」が多く、交流の需要の高さが伺える。来年度も参加者同士の交流を図り、ピアカウンセリング支援を継続していきたい。引き続き参加者同士の交流の場を提供し、不安や悩みを軽減できる機会を提供する。コロナ後の参加人数が横ばいであるため、関係機関を通じて、情報発信していきたい。							